

議会だより

題字は、駄知小学校6年生 瀧瀬萌彩さんの作品です。

発行：土岐市議会 編集：議会だより編集委員会 TEL0572-54-1111 FAX0572-54-8971 E-mail：gikai@city.toki.lg.jp



Contents

- 第2回臨時会報告…………… 2～5 ページ
- 第1回定例会報告…………… 4～7 ページ
- 委員会報告…………… 8～13 ページ
- 一般質問…………… 14～18 ページ
- 特別委員会活動報告…………… 19 ページ
- 政務活動費収支報告…………… 20 ページ
- 編集後記…………… 22 ページ

都市計画道路「妻木線」

2013年4月にスタートした妻木南部土地区画整理事業と並行して、この区画整理地域の基幹道路として全長約1.1kmの都市計画道路「妻木線」の事業も進められております。この道路が開通すると土岐市の文化財の宝庫であるこの地域の活性化に寄与すると思われます。

令和4年 第2回臨時会報告

議会新体制スタート

5月9日に第2回臨時会が開催され、正副議長をはじめ各委員などが選出されました。議会構成は次のとおりです。



監査委員 加藤 淳一



議長 水野 哲男



副議長 各務 和彦

議長あいさつ

市民の皆様には、平素より市議会に対しまして、温かいご理解とご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

令和3年第2回臨時会におきまして、議長に就任いたしましてから1年が経ちましたが、任期後半の重責に改めて身の引き締まる思いと、その重さを痛感しております。

現在、未だ新型コロナウイルス感染症の出口が見えない状況ではありますが、土岐市議会では、本市の発展と市民福祉の向上に最善の努力を尽くして参りますので、引き続き皆様方の一層のご理解ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

議長 水野 哲男

常任委員会で審査する所管事項

各常任委員会で審査する事項は、次のように分かれています。議案は、所管事項ごとに各常任委員会で審査されます。

名 称	所管事項	定 数
総務産業建水委員会	市長公室、総務部、地域振興部、建設水道部、会計課、消防本部の所管事項、文教厚生委員会に属さない事項	9人
文教厚生委員会	市民生活部、健康福祉部、教育委員会	9人

議

会

構

成

正副議長

議長 水野 哲男

副議長 各務 和彦

監査委員 加藤 淳一

委員会構成等 ◎委員長 ○副委員長

議会運営委員会

◎楓 博元 ○杉浦 司美 高井由美子 加藤 辰亥
後藤 久男 鈴木 正義 小関 篤司 後藤 正樹

常任委員会

総務産業建水委員会

◎後藤 正樹 ○西尾 隆久 小栗 恒雄 高井由美子
楓 博元 加藤 辰亥 鈴木 正義 和田 悦子
水野 哲男

文教厚生委員会

◎水石 玲子 ○山田 正和 杉浦 司美 加藤 淳一
後藤 久男 北谷 峰二 各務 和彦 小関 篤司
安藤 学

特別委員会

議会改革特別委員会

◎北谷 峰二 ○加藤 辰亥 小栗 恒雄 杉浦 司美
後藤 久男 山田 正和 水野 哲男 水石 玲子
後藤 正樹

行財政改革特別委員会

◎和田 悦子 ○高井由美子 西尾 隆久 楓 博元
加藤 淳一 鈴木 正義 各務 和彦 小関 篤司
安藤 学

組合等議員

東濃西部広域行政事務組合 後藤 正樹 水石 玲子
土岐川防災ダム一部事務組合 水野 哲男
土岐市及び瑞浪市休日急病診療所組合 水野 哲男 水石 玲子
山田 正和

議員団長

(土岐津) 安藤 学 (下石) 杉浦 司美 (妻木) 加藤 淳一 (濃南) 水野 哲男
(駄知) 西尾 隆久 (肥田) 水石 玲子 (泉) 後藤 正樹

令和4年 第2回臨時会議決状況

議案番号	議 案 名	議案の主な内容
議第28号	令和4年度土岐市一般会計補正予算（第1号）	補正額 454,902千円
議第29号	土岐市固定資産評価委員の選任同意について	堀尾宜弘さんの選任同意
議第30号	専決処分の報告及び承認について 専第6号 土岐市税条例の一部を改正する条例について	地方税法等の一部を改正する法律が令和4年3月31日に公布され、その一部が4月1日に施行されたことに伴い、固定資産税（土地）の負担調整措置等をするため、所要の改正を行ったもの。
議第31号	専決処分の報告及び承認について 専第7号 土岐市都市計画税条例の一部を改正する条例について	地方税法等の一部を改正する法律が令和4年3月31日に公布され、その一部が4月1日に施行されたことに伴い、都市計画税（土地）の負担調整措置等をするため、所要の改正を行ったもの。
議第32号	専決処分の報告及び承認について 専第8号 令和3年度土岐市一般会計補正予算（第18号）	補正額 367,099千円
議第33号	土岐市監査委員の選任同意について	加藤淳一さんの選任同意

○：賛成 ×：反対 ※：除斥

議案番号	議決結果	後藤正樹	安藤学	小関篤司	水石玲子	水野哲男	各務和彦	和田悦子	北谷峰二	鈴木正義	山田正和	後藤久男	加藤淳一	加藤辰亥	楓博元	杉浦司美	高井由美子	小栗恒雄	西尾隆久
議第28号	可決	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第29号	同意	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第30号	承認	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第31号	承認	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第32号	可決	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第33号	同意	○	○	○	○		○	×	×	○	○	×	※	○	○	○	○	○	○

令和3年 第1回定例会報告

第1回定例会には、予算関係11件、条例関係7件、その他の案件8件の合計26件が市長から上程されました。委員会付託された議案については各委員会で3月14日から3月17日に審議され、本会議において原

案のとおり可決しました。本会議での採決状況及び結果につきましては、下記のとおりです。

○：賛成 ×：反対

議案番号	議 案 名	議案の主な内容
議第1号	令和4年度土岐市一般会計予算	総 額 23,785,000千円
議第2号	令和4年度土岐市国民健康保険特別会計予算	総 額 5,606,271千円
議第3号	令和4年度土岐市駐車場事業特別会計予算	総 額 33,635千円
議第4号	令和4年度土岐市介護保険特別会計予算	総 額 6,436,042千円
議第5号	令和4年度土岐市・瑞浪市介護認定審査会特別会計予算	総 額 40,991千円
議第6号	令和4年度土岐市・瑞浪市障害者総合支援認定審査会特別会計予算	総 額 6,200千円
議第7号	令和4年度土岐市後期高齢者医療特別会計予算	総 額 916,078千円
議第8号	令和4年度土岐市病院事業会計予算	収 入 1,486,160千円 支 出 1,710,656千円
議第9号	令和4年度土岐市水道事業会計予算	収 入 2,327,100千円 支 出 2,704,936千円
議第10号	令和4年度土岐市下水道事業会計予算	収 入 2,394,158千円 支 出 2,984,025千円
議第11号	令和3年度土岐市一般会計補正予算（第16号）	補正額 476,456千円

議案番号	議決結果	後藤正樹	安藤学	小関篤司	水石玲子	水野哲男	各務和彦	和田悦子	北谷峰二	鈴木正義	山田正和	後藤久男	加藤淳一	加藤辰亥	楓博元	杉浦司美	高井由美子	小栗恒雄	西尾隆久
議第1号	可決	○	○	×	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第2号	可決	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第3号	可決	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第4号	可決	○	○	×	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第5号	可決	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第6号	可決	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第7号	可決	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第8号	可決	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第9号	可決	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第10号	可決	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第11号	可決	○	○	×	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和4年 第2回臨時会議決状況

議案番号	議 案 名	議案の主な内容
議第28号	令和4年度土岐市一般会計補正予算（第1号）	補正額 454,902千円
議第29号	土岐市固定資産評価委員の選任同意について	堀尾宜弘さんの選任同意
議第30号	専決処分の報告及び承認について 専第6号 土岐市税条例の一部を改正する条例について	地方税法等の一部を改正する法律が令和4年3月31日に公布され、その一部が4月1日に施行されたことに伴い、固定資産税（土地）の負担調整措置等をするため、所要の改正を行ったもの。
議第31号	専決処分の報告及び承認について 専第7号 土岐市都市計画税条例の一部を改正する条例について	地方税法等の一部を改正する法律が令和4年3月31日に公布され、その一部が4月1日に施行されたことに伴い、都市計画税（土地）の負担調整措置等をするため、所要の改正を行ったもの。
議第32号	専決処分の報告及び承認について 専第8号 令和3年度土岐市一般会計補正予算（第18号）	補正額 367,099千円
議第33号	土岐市監査委員の選任同意について	加藤淳一さんの選任同意

○：賛成 ×：反対 ※：除斥

議案番号	議決結果	後藤 正樹	安藤 学	小関 篤司	水石 玲子	水野 哲男	各務 和彦	和田 悦子	北谷 峰二	鈴木 正義	山田 正和	後藤 久男	加藤 淳一	加藤 辰亥	楓 博元	杉浦 司美	高井由美子	小栗 恒雄	西尾 隆久
議第28号	可決	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第29号	同意	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第30号	承認	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第31号	承認	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第32号	可決	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第33号	同意	○	○	○	○		○	×	×	○	○	×	※	○	○	○	○	○	○

令和3年 第1回定例会報告

第1回定例会には、予算関係11件、条例関係7件、その他の案件8件の合計26件が市長から上程されました。委員会付託された議案については各委員会で3月14日から3月17日に審議され、本会議において原

案のとおり可決しました。本会議での採決状況及び結果につきましては、下記のとおりです。

○：賛成 ×：反対

議案番号	議 案 名	議案の主な内容
議第1号	令和4年度土岐市一般会計予算	総 額 23,785,000千円
議第2号	令和4年度土岐市国民健康保険特別会計予算	総 額 5,606,271千円
議第3号	令和4年度土岐市駐車場事業特別会計予算	総 額 33,635千円
議第4号	令和4年度土岐市介護保険特別会計予算	総 額 6,436,042千円
議第5号	令和4年度土岐市・瑞浪市介護認定審査会特別会計予算	総 額 40,991千円
議第6号	令和4年度土岐市・瑞浪市障害者総合支援認定審査会特別会計予算	総 額 6,200千円
議第7号	令和4年度土岐市後期高齢者医療特別会計予算	総 額 916,078千円
議第8号	令和4年度土岐市病院事業会計予算	収 入 1,486,160千円 支 出 1,710,656千円
議第9号	令和4年度土岐市水道事業会計予算	収 入 2,327,100千円 支 出 2,704,936千円
議第10号	令和4年度土岐市下水道事業会計予算	収 入 2,394,158千円 支 出 2,984,025千円
議第11号	令和3年度土岐市一般会計補正予算（第16号）	補正額 476,456千円

議案番号	議決結果	後藤 正樹	安藤 学	小関 篤司	水石 玲子	水野 哲男	各務 和彦	和田 悦子	北谷 峰二	鈴木 正義	山田 正和	後藤 久男	加藤 淳一	加藤 辰亥	楓 博元	杉浦 司美	高井由美子	小栗 恒雄	西尾 隆久
議第1号	可決	○	○	×	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第2号	可決	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第3号	可決	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第4号	可決	○	○	×	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第5号	可決	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第6号	可決	○	○	○	○	長 議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第7号	可決	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第8号	可決	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第9号	可決	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第10号	可決	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第11号	可決	○	○	×	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案番号	議 案 名	議案の主な内容
議第12号	土岐市職員の服務の宣誓に関する条例及び土岐市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例について	行政手続における署名を見直し、行政手続の簡素化及び効率化を図るため、この条例を定めようとするもの。
議題13号	土岐市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	国家公務員の育児休業等の取得要件の緩和等に基づいて、会計年度任用職員の育児休業等の取得要件を緩和等するため、所要の改正をするもの。
議題14号	土岐市手数料徴収条例の一部を改正する条例について	地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部改正等に伴い、液化石油ガスの保安確保機器及び貯蔵施設における審査手数料の見直し等をするため所要の改正をするもの。
議第15号	土岐市多機能型子育て支援拠点施設の設置及び管理に関する条例について	土岐市多機能型子育て支援拠点を設置するため、この条例を定めようとするもの。
議題16号	土岐市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	国民健康保険法施行令の一部改正等に伴い、基礎賦課額に係る賦課限度額の引き上げ等をするため、所要の改正をするもの。
議第17号	土岐市営住宅管理条例の一部を改正する条例について	土岐市営住宅の家賃の再算定制度を導入等するため、この条例を定めようとするもの。
議第18号	土岐市消防団委員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について	消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律の一部改正等に伴い、消防団員等公務災害補償を受ける権利を担保とする特例を廃止するもの。
議第19号	土岐市固定資産評価審査委員会委員の選任同意について	土岐市固定資産評価審査委員会委員に東俊之氏を再任したいので、議会の同意を求めるもの。
議題20号	土岐市固定資産評価審査委員会委員の選任同意について	土岐市固定資産評価審査委員会委員に酒井忠造氏を再任したいので、議会の同意を求めるもの。
議第21号	土岐市固定資産評価審査委員会委員の選任同意について	土岐市固定資産評価審査委員会委員に土屋芳枝氏を再任したいので、議会の同意を求めるもの。
諮第1号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	人権擁護委員に林敬久氏を再推薦したいので、議会の意見を求めるもの。
諮第2号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	人権擁護委員に安藤公子氏を再推薦したいので、議会の意見を求めるもの。
議第22号	専決処分の報告及び承認について 専第1号 令和3年度土岐市一般会計補正予算(第14号)	補正額 827,150千円
議第23号	専決処分の報告及び承認について 専第2号 令和3年度土岐市介護保険特別会計補正予算(第2号)	令和3年度～令和4年度 債務負担行為補正 19,000千円
議第24号	専決処分の報告及び承認について 専第5号 令和3年度土岐市一般会計補正予算(第15号)	補正額 7,040千円
議第25号	令和3年度土岐市一般会計補正予算(第17号)	補正額 4,725千円
議第26号	損害賠償の額を定めることについて	損害賠償の相手方 法人(愛知県豊橋市内) 損害賠償額 4,643,719円
議題27号	土岐市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例について	企業職員における会計年度任用職員に関する給与の種類及び基準を定めるため、この条例を定めようとするもの。

[illegible]

ロシアのウクライナ侵略に抗議する決議

2月24日、国際社会の懸命な外交努力にもかかわらず、ロシアはウクライナへの侵攻を開始し、首都キエフへの攻撃を始めとするウクライナ全土への軍事攻撃を行っている。

国際社会の平和と安全を著しく損なうものであり、戦後築き上げられてきた国際秩序の根幹を揺るがす暴挙である。

武力を背景として一方的に現状を変更しようとする侵攻は、ウクライナの主権と領土の一体性を侵害する明白な国際法違反であり断じて容認することができない。

本市議会は、今回のロシアによる軍事的暴挙に対し、抗議と非難の意を強く表明するとともに、真の恒久平和の実現に向け、即時の攻撃停止と完全撤退を強く求めるものである。

また、政府においては、ウクライナ在留邦人の安全確保に全力を尽くすとともに、国際社会と連携し、迅速かつ厳格な対応を行うよう強く要請する。

以上、決議する。

令和4年3月10日

土 岐 市 議 会

委員会報告(文教厚生委員会)

令和4年度土岐市一般会計予算 所管部分

質疑 総務費の自治会が維持管理する防犯カメラ設置補助金について、補助率は何の位か。

答弁 補助率は2分の1で、一団体50万円を上限とする。

質疑 民生費の家計改善支援事業の事業概要は。

答弁 家計に問題を抱える生活困窮者の相談支援を行い、よりよい生活に改善する支援をするもの。

質疑 子ども家庭総合支援拠点の事業概要は。

答弁 子どもとその家庭や妊産婦等に対し関係機関と連携し、総合的に支援できる拠点を作るもの。

質疑 保育園等で非正規職員が担任を受け持つ状況は改善されているのか。

答弁 正規職員を採用することにより改善されつつある。

質疑 地域子育て支援拠点整備工事について、どのような工事を行うのか。

答弁 (仮称) イオンモール土岐内に施設を設置するもので、その施設整備を行う。

質疑 衛生費の子宮頸がんワクチン接種について、何回分計上しているのか。

答弁 3回接種し、接種率を40%で想定し、小学6年生から高校1年生まで1500回分、積極的勧奨でなかった期間の方に2,434回分計上している。

質疑 多胎家庭支援事業の事業概要は。

答弁 多胎家庭の不安等を解消するための相談支援を行う。

質疑 再エネ設備導入ポテンシャル調査について、市内全域のどのような物件が調査対象となるのか。

答弁 公共施設の屋根や市有地、遊休地に太陽光発電をどの位導入できるか基礎的な調査を行う。



質疑 次代の環境活動を担う人材育成支援の事業概要は。

答弁 保育園、幼稚園、こども園の5歳児を対象として動画鑑賞や出前講座をととして、環境に対する好奇心や感性を育てる企画を実施する。

質疑 土木費の運転免許証自主返納者支援事業について、免許証の返納者を何名で積算しているのか。

答弁 返納後のタクシー利用者を100名、バス利用者を85名で積算している。



質疑 市営住宅解体工事について、どの地区の市営住宅を解体するのか。

答弁 土岐津町古井、泉町丸石の市営住宅2棟の解体を予定している。

質疑 教育費の通学路防犯カメラ設置事業について、設置個所はどのように選定しているのか。

答弁 学校長、学校運営協議会会長を交え、学校で設置個所の選定を行っている。西陵、肥田中学校区に3台ずつ設置する予定である。



質疑 医療的ケア児への対応として看護師の雇用を予定しているが、対象者はいるのか。

答弁 小学校新入学生に対象者がいるため看護師の任用を予定している。

質疑 放課後教室が午後7時まで延長されるが、職員の受け入れ体制は整備されるのか。

答弁 3教室で指導員を1人ずつ増員し延長利用に対応する。

質疑 電子図書館事業について、利用促進に向け、どのように取り組むのか。

答弁 ここ数か月は毎月500冊程度のコンテンツが読まれており、コンテンツの充実を図り、周知することにより利用者の増加に努めたい。

質疑 スポーツに親しむ基礎をつくるアクティブチャイルドプログラムについて、どの程度の規模で実施するのか。

答弁 大学の専門家を講師として、各小学校2学年を対象に年3回の実施を予定している。

質疑 ときげんきっ子給食事業のうち、研究献立の公募について、どのように事業を進めていくのか。

答弁 中学生の夏休みの研究として献立を考案してもらい給食に取り入れることを考えている。

討論 保育士や幼稚園教諭について、非正規職員に担任を受け持たせている状況は解消されていない。また、東濃中部病院事務組合への負担金や陶元浅野線道路事業など新病院建設に向け事業が進められているが、一病院化について市民の不安もあり、見直しが必要であるため、この予算に反対する。



令和4年度土岐市国民健康保険特別会計予算について

質疑 基金からの繰入金が大幅に増加している要因は。

答弁 診療費の伸びと、前期高齢者交付金の返還金による保険料の上昇を抑えるため基金からの繰り入れを増額した。

質疑 基金から繰り入れることによって、基金残高はどれ位になるのか。

答弁 8,500万円繰り入れることによって残高は6億8,000万円程度となる。



令和4年度土岐市介護保険特別会計予算について

質疑 基金からの繰入金が大幅に増加している要因は。

答弁 介護給付費の伸びと被保険者の減少による保険料収入の減少分を補うため増額した。

質疑 地域包括支援センターを外部委託する理由は。

答弁 地域包括支援センターに必要な専門職の確保が将来的に直営では困難なため、安定的に運営するため外部委託する。

討論 地域包括支援センターの外部委託について、市で人材を確保し、直営を維持すべきであり、この予算に反対する。

令和4年度土岐市後期高齢者医療特別会計予算について

質疑 被保険者数の見込みはどれ位になるのか。

答弁 岐阜県後期高齢者医療広域連合の推計では10,321人で見込んでいる。

令和4年度土岐市病院事業会計予算について

質疑 入院患者、外来患者の目標数は。

答弁 1日当たりの入院患者数を113.9人、外来患者数を281.8人と指定管理者の事業計画書により定められている。

質疑 医師と看護師の配置計画は。

答弁 指定管理者の計画目標値として、医師は33.6人、看護師は117人としている。



令和3年度土岐市一般会計補正予算（第16号） 所管部分

質疑 5歳から11歳までの新型コロナワクチン接種について、対象者は何人か。

答弁 3,400人に対する接種として予算計上している。

質疑 新型コロナ感染症対策として、小中学校にどのようなものを購入するのか。

答弁 アルコール消毒液、使い捨て手袋、ペーパータオル等を購入する。

討論 委員会所管外であるが、陶元浅野道路事業について新病院に向け事業が進められているが、一病院化について見直しが必要であるため、この予算に反対する。



土岐市国民健康保険条例の一部を改正する条例について

質疑 賦課限度額の引き上げにより影響を受ける世帯は何世帯位か。

答弁 令和3年度に当てはめた場合、昨年12月時点で賦課限度額に達している世帯のうち、非該当となる世帯は17世帯となる。

土岐市営住宅管理条例の一部を改正する条例について

質疑 年度途中での収入の増減による家賃の再計算を導入する経緯は。

答弁 前々年度の収入により家賃を決定していたが、世帯人数、経済状況の変化に柔軟に対応するため導入する。

委員会報告(総務産業建水委員会)

令和4年度土岐市一般会計予算 所管部分

質疑 ふるさと応援寄付金が大幅に増加する理由は。

答弁 返礼品数は当初289品であったが、各事業所の理解を得て1,300品を超える返礼品をそろえたのが大きな要因である。

質疑 ホームページのリニューアルについて、どのようなリニューアルを行うのか。

答弁 デザインやシステムも含め全面的なリニューアルを行う。

質疑 地籍調査事業について進捗率は何パーセントになるのか。

答弁 調査対象面積114.22平方キロメートルのうち進捗率は16.89%となる。

質疑 テレワーク環境整備について、何か所の整備を行うのか。

答弁 陶磁器試験場、給食センター、環境センター等の出先機関7か所に職員のテレワーク環境を整備する。

質疑 デジタルトランスフォーメーションの推進について、どのように事業を進めていくのか。

答弁 手続きのオンライン化、行政システムの標準化、共通化を進めることによって、市民の利便性、業務の効率化を進めていく。



質疑 国際交流事業について、コロナ禍の中、どのような事業を行うのか。

答弁 ファエンツァ市長の来市時の交流事業やファエンツァの陶器祭りへの陶芸家の派遣を予定している。

質疑 定住促進奨励金のうち、県の補助金が上乗せになった部分はどのように取り扱われるのか。

答弁 県の補助用要件に合致する対象者に25万円を上乗せして支給する。

質疑 人口減少対策事業の移住促進チラシの活用方法は。

答弁 各地の県人会に配布を依頼するなどし、移住促進に努めたい。

どし、移住促進に努めたい。

質疑 共助のまちづくり補助金の概要は。

答弁 町内会活動の活性化、加入促進や町内会の合併に要する経費を補助する。

質疑 結のまちづくりポイント事業の概要は。

答弁 市が指定する活動に参加することで図書カードと交換できるポイントを付与する。

質疑 多文化共生推進事業の新たな取り組みは。

答弁 外国語通訳者を採用し、外国人相談窓口を設置する。

質疑 企業立地奨励金の対象企業は何社か。

答弁 12社を見込んでいます。

質疑 販売戦略等チャレンジ協議会負担金について、イオンモール内において、どのような企画を考えているのか。

答弁 商工会議所、観光協会と連携し、一つのブースで販路開拓や市のPR等が行えるよう調整をしている。



質疑 セラトピア土岐周辺土地の購入目的は。

答弁 土岐商工会議所跡地の市有地と周辺民有地を一体的に駐車場として整備するため。

質疑 レクリエーションゾーン基本構想の策定について、どのような構想をするのか。

答弁 少年自然の家跡地周辺地区を有効活用するため、キャンプ場、レジャー施設等の整備を検討する。

質疑 陶元浅野線道路設計業務について、道路の幅員はどの程度か。

答弁 市街地付近は両側歩道の全幅12メートル程度、その他区間は片側歩道全幅10メートル程度である。

質疑 道路照明灯 LED 化事業について、何基の照明灯を交換するのか。また、リース契約をすることにより経費は削減されるのか。

答弁 915基の照明灯のうち769基の水銀灯を交換し、LED 化された照明灯のうち必要のあるものは交換する。リース契約することにより大幅な経費削減が見込まれる。



質疑 AED 等救命講座はどの程度予定しているのか。



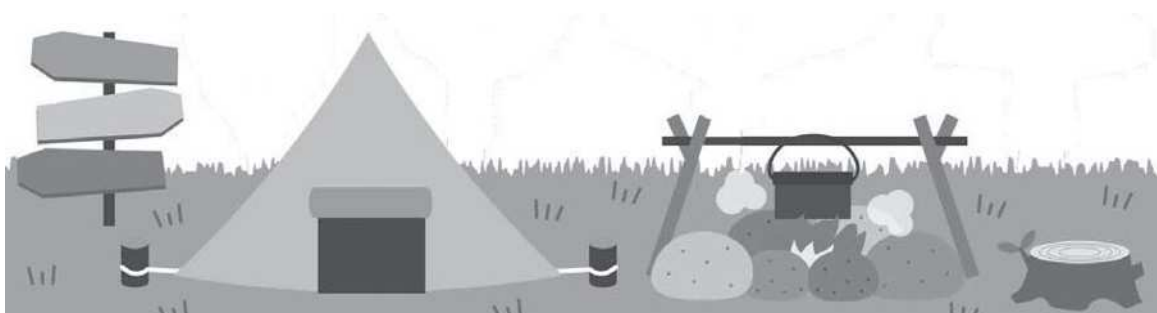
答弁 コロナの状況にもよるが通常どおり進める予定である。

質疑 災害図上訓練 DIG はどの程度予定しているのか。

答弁 地域の自治会に呼びかけ通常どおり進める予定である。

質疑 女性消防職員を増員する予定はあるのか。

答弁 国の示す定数の5%を目標として考えていきたい。



令和4年度土岐市水道事業会計予算について

質疑 新たに企業債を借り入れる理由は。

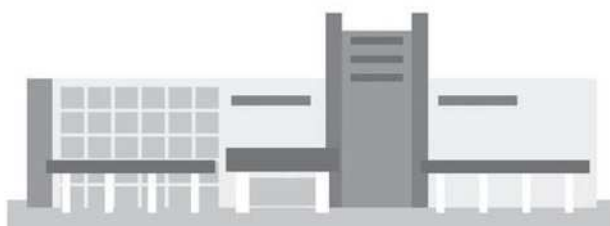
答弁 今後の施設老朽化に伴い、建設改良費の一定水準の支出が見込まれ、資金的余裕を保つため、また、将来負担の公平性の観点からも計画的に借り入れた。

質疑 給水人口は減っているが、給水数量の増加を見込んでいる理由は。

答弁 イオンモールのオープンも一つの要因であるが、コロナの影響による巣ごもり需要の拡大による給水量の増加も見込んでいる。

質疑 耐震化率が全国平均よりも低い工事の前倒し。耐震化率を高める考えはないのか。

答弁 水道事業経営戦略に基づき資金計画を立て、5年くらい先に全国平均に追いつけるよう計画している。



質疑 有収率を上げる新たな取り組みは。

答弁 衛星画像の AI 解析により、漏水箇所を特定する調査を試みており、今後の漏水調査につなげ、有収率の回復に努めたい。

令和4年度土岐市下水道事業会計予算

質疑 公共処理場整備事業はどのような工事を行うのか。

答弁 スtockマネジメント計画に基づき、老朽化した施設の更新計画を立て、令和4年度から屋根防水や受変電設備工事など優先順位の高いものから更新工事を行う。

質疑 農業集落排水の水洗化率向上の取り組みは。

答弁 高齢化や空き家等で水洗化率は伸び悩んでいるが、水洗化普及員を派遣し向上に努めたい。



令和3年度土岐市一般会計補正予算（第16号）所管部分

質疑 陶元浅野線道路について、急峻な起伏を伴う地形を伴うため測量範囲を増加するという事であるが、道路建設に問題はないのか。

答弁 道路建設に問題はない。自然の盛土を多用し工事費を抑えるための測量である。

質疑 新型コロナウイルス感染症拡大防止事業の小規模事業者持続化補助金について、対象は何件か。

答弁 15件の補助を見込んでいる。



土岐市手数料徴収条例の一部を改正する条例について

質疑 今回の改正以外の事務で手数料の変更はないのか。

答弁 地方公共団体の手数料の標準に関する政令の改正に伴うものであり、10%以上の変動があった2つの事務を改正する。

一般質問

3月議会では9名の議員が市政に対して、一般質問を行いました。
議会だよりでは、一般質問の要旨を各議員の文責において掲載しております。
土岐市ホームページでは、インターネットによる議会映像の配信や定例会・臨時会の会議録を掲載しています。ぜひアクセスして詳細をご覧ください。



●一般質問へのアクセス方法

視聴の場合

土岐市ホームページ ⇒ 市議会 ⇒

どちらかの方法

議会ライブ中継 ⇒ 議会の日程から選ぶ ⇒ 一般質問
⇒ 視聴したい日にち ⇒
議会ライブ中継 ⇒ 議員の名前から選ぶ ⇒ 日時を選ぶ

文書の場合

土岐市ホームページ ⇒ 市議会 ⇒
議会会議録検索 ⇒ 会議録検索システムへ

《第1回定例会一般質問》

●印は議員の意見・提案

◆ 自転車の安全対策について
● 近年の自転車事故の発生件数は。
● 市内の負傷者、令和3年は8人。
● 令和元年、令和2年は9人。死亡者はいない。
● 自転車運転について罰則が強化されたが、市民への安全運転の啓発は。
● 毎年5月の自転車安全利用促進月間に、交通ルールやマナー等の放映をし、ポスターの掲示、市のホームページに掲載し周知している。
● 小中学校での安全指導は。
● 小学校では年1回3年生を対象に乗り方についての交通安全教室を実施。年間通して小中学校では、全校集会、全校放送を活用し、特に命を守るために大切なヘルメット着用について指導している。
● 自転車保険加入を促進する取り組みや加入状況の把握は。
● 昨年11月の広報で、自転車整備点検、自転車保険等への加入を呼びかけている。岐阜県の加入率は50%。
● 自転車保険の加入の義務化や促進を定める条例の制定の見解は。



● 水石 玲子 ●



交通安全教室

● 岐阜県の条例において自転車保険等への加入の義務付け、加入促進に関する事項も想定してあるため、市独自の条例等は考えていない。
● ヘルメット着用の義務化や、ヘルメット購入費用の助成の見解は。
● 着用について、県の条例で努力義務であるので考えていない。助成制度の創設の予定はない。
◆ 周産期グリーンケア支援について
● 周産期での死産の人数は。
● 令和元年度、2件。いずれも妊娠22週以降の方。
● 今後の支援について
● 保健センター内の子育て世代包括支援センターでの相談のほか、岐阜県不妊相談センターへの紹介等、地域のニーズを踏まえながら、グリーンケアの取り組みに関する周知に努めていく。



加藤 淳一

◆妻木町南部地域の開発整備について

問妻木町南部土地区画整備事業の中の、本市の関連事業の現在の進捗状況を教えてください。

答地区面積約14・4ヘクタールのうち、約12・6ヘクタール、87・4%が工事施工済みとなっております。道路築造に関しては、幹線道路である妻木線及び妻木笠原線につきましては、おおむね完成しております。街区道路につきましては、全線2,693メートル中、未整備区間が約185メートルあり、約93%が完成しております。今後の予定といたしましては、埋蔵文化財発掘調査資料整備と残工事完成後に換地処分清算等を行い、工事完了となります。

問この地域は子育て環境に重点を置いた市街地になる予定ですが、この地域に都市公園とか何か、市の公共施設を建設する計画はありますか。

答土地区画整理事業地内においては、地区面積約14・4ヘクタールのうち、概ね3%に当たる約0・43ヘクタールが公園として4か所ほど計画されております。その他の公共施設にしましては現在のところ予定していません。

●第6次総合計画市長公約に基づき、令和2年度から重点分野として位置づけている事業の一つである新世代健康寿命延伸事業と元氣プロジェクトと関連して、みんなで健康寿命を目指すためのトレーニング施設を建設していただくことを要望します。

問この区画整理事業によって、土岐足助線のバイパスが妻木町の須後から本町まで開通しますが、この先の計画があるのかお伺いします。

答本町から南への計画ですが、この都市計画道路妻木線は妻木川を横断し、一般道妻木笠原線の旭橋左岸付近を終点とするバイパスが都市計画道路として決定されております。

◆運転免許証の自主返納について

問本市でも、平成30年より返納者にバスの回数券やタクシーの利用券を交付する事業を始めて見えます。また役所内に臨時の出張窓口を設けたりして運転免許の自主返納を後押しして見えますが、昨年までの返納者は何人ぐらい見えますか。

答平成30年度142人、令和元年度231人、令和2年度156人となっております。

【第1回定例会一般質問】

●印は議員の意見・提案



安藤 学

◆救急出動について

問救急出動の実績について、令和3年度救急出動回数と前年比、また増えた理由について。

答令和3年の出動件数は2658件、前年の令和2年が2530件、前年比128件の増、増えた理由は、高齢者事案が多く令和3年は、ワクチン接種も進み、生活行動が普通に帰っていく中、緊急事案もこれまでの傾向に戻ってきたと考えている。

問軽症者の多い理由は。

答令和3年は37%の人が軽症の人で占めているが、軽症という傷病程度については、医師が初診時に入院を必要としないと判断した方で一定程度を占めることは当然であると思っている。高い年は平成26年が42%、低い年は平成30年の31%。全国平均や岐阜県平均と比べても特に多いと考えていない。

問今後の進め方について

答軽症者への対応についてお答えをお願いします。

答傷病者の搬送を適切に行うことは、消防の任務の一つ、重大な病気やけがの場合はためらわず呼んでほしい。しかし、軽症な事案の中には緊急性が低いものもあると思われる。

要請が複数重なったときは、現場到着時間の遅れにつながるので救急車の適正利用については広報「とき」への掲載や救急講習会での座学、啓発ポスターの配布などで広く市民の皆さんへの周知を行っております。

問高齢者の独居老人対策について

答70歳以上の独り暮らしの高齢者の日常生活における緊急の事態に備え緊急通報機器を設置して独り暮らしの高齢者の迅速な救助、援護を行っている。

◆公共施設での自販機設置について

問現状はどの様になっているか。

答設置状況といたしまして、市が直営で管理をしている公共施設は、10施設において飲料の自販機が19台設置をしている。

問公民館への設置について。

答現在市内にある10の公民館には、自販機設置はございません。公民館の使用許可取扱基準、商品の販売等営利的活動が不可のため現在設置はありませんが飲料水の自販機設置は利用者の利便性の向上、夏季の熱中症対策、災害時の避難所等を考え利用者、関係者、設置業者を含め必要性、有効性について検討いたします。



西尾 隆久

◆コロナ禍における市内の現状について

問3 回目のワクチン接種の状況は。

答 医療従事者や高齢者施設を除く一般の方に対する接種を1月27日から実施しており、接種率の状況は、3月7日時点のデータで、対象者総数に対して36・5%であり、そのうち65歳以上の接種率は、73・8%であり、65歳未満の接種率については15・4%という状況。

問5 歳から11歳までのワクチン接種について

答 2月28日から優先予約を受け付け、3月5日から接種を開始したところで、現在までに321名の方の予約を受け付けている状況。

問 市役所業務の現場の状況で影響、支障は生じているのか。

答 健康福祉部の所管で、保育園、幼稚園、こども園を休園、あるいは閉鎖した事例があり、また教育委員会におきまして、小学校、中学校の学級閉鎖、また放課後教室を休止した事例がある。

問 保育士不足に伴い、保育士の募集状況について

答 保育士は10名程度で募集し、令和4年4月1日付採用予定者は合計10名。会計年度任用職員については令和4年4月1日採用予定者は2名。会計年度任用職員については随時募集を行っており、令和3年度中に11名を採用している。

問 保育園、幼稚園、こども園の不審者の対応についてのマニュアルは。

答 文部科学省が作成した学校の危機管理マニュアル作成の手引を参考に防犯に対応する危機管理意識を共有するために万が一の場合を想定した不審者に対する訓練を実施している。また各園には防犯カメラを設置しており、初期段階での不審者の発見と対策につながるものではないかと考えている。

問 本市の婚姻数、出生数について。

答 婚姻数は土岐市に通知のあった合計件数は、令和2年度は577件、令和3年度は487件。出生数は、土岐市に住民登録をした件数は令和2年度は298件、令和3年度は273件（駄知町17件、18件）

◆ 駄知町の認定こども園化への移行について

答 令和4年度の予算計上はしていないが地元との調整、候補地の選定など具体的な検討を進めていきたい。

【第1 回定例会一般質問】

●印は議員の意見・提案



楓 博元

◆新病院建設を含めた浅野地区について

問 新病院等の開発行為による浅野地区の3河川（狭間川、立溝川、馬沢川）の洪水対策はどのようなのですか。

答 新病院については、県の開発指導要項にしたがい時間183ミリの降雨強度を有する洪水調整池を設置するなど、盛土対策、道路の構造基準、自然の保全の基準など多くの条件を守る設計をしています。

民間企業が計画されている太陽光発電施設も、調整池については時間183ミリの降雨強度を基に計算しています。開発区域の25%以上の森林の確保をします。

河川改修については、現況調査を実施中です。最終的な開発区域、建物や駐車場の配置など設計が完了した時点で、調査結果に基づき、必要な護岸工事、伐木、浚渫などの改修を実施します。

河川、市道については、地元の意見を基に安全性、利便性を考慮して対応していきます。

問 旧給食センター跡地を企業誘致用の土地として利用できませんか。

答 跡地の面積が狭いということ、土砂災害特別警戒区域内ということで企業誘致としての利用は出来ないと考えています。

◆ 企業誘致について

問 企業誘致の現状と今後の見通しをお聞かせします。

答 平成27年以降26社の企業が進出され、令和2年の税収は約13億4千万円です。

誘致用の土地は、定林寺地区で調査していた場所は分譲価格が周辺より上回ってしまいました。新しく環境センターの北東の土地を候補地として調査をしたところ、有望であると思われる、事業実施にむけて進めていきます。

誘致企業の支援策の一つとして従業員の移住促進策も検討していきます。

◆ ふるさと納税について

問 ふるさと納税の現状と企業版ふるさと納税の取り組みについて、お聞かせします。

答 2月末の寄付額は約2億3千万円で、返礼品は陶磁器が約8割です。企業版ふるさと納税については、現在は寄付実績はありませんが、本市にゆかりの企業や進出企業の皆様へ働きかけを検討しています。



高井由美子

◆マイナンバーカードについて

問 全国交付枚数が5069万枚を超え、全人口の40%に達した。
土岐市の交付枚数と人口に対する交付率と普及啓発について伺います。
答 令和4年2月1日で19,801枚。普及率は34.6%です。

これまで広報・ホームページで周知を図り、本庁で毎月最終日曜日に交付窓口、夜間受付を第1、第2水曜日と第3、第4木曜日の午後7時まで開設。

出張申請受付は10回、企業一括申請2社、申請サポートは2月に8回を行っている。

問 高齢者へのデジタル活用支援は。

答 高齢者に特化した支援は未実施。マイナンバーカードの申請や交付、マイナポイントの申し込みは市民課の窓口で対応、お問い合わせの対応や支援を行っている。

◆不妊治療の保険適用について

問 不妊治療の保険適用の概要は。
答 人工授精等の一般不妊治療と体外授精、顕微授精等の生殖補助医療。

これまでの不妊治療助成事業は終了となります。

問 不妊治療が年度をまたぐ場合は。

答 助成制度から保健適用へ移行に当たたる救済措置は、年度をまたぐ1回の治療を助成の対象とします。



◆帯状疱疹ワクチンの接種について。

問 帯状疱疹の原因は水痘・帯状疱疹ウイルスで、日本人の成人の9割以上が既に感染し、体内ウイルスを持っているため、帯状疱疹になる可能性があり、患者の7割が50歳以上です。

帯状疱疹を予防するワクチンとして乾燥弱毒性水疱ワクチンに2016年、50歳以上に帯状疱疹予防の効能・効果が追加されました。

帯状疱疹ワクチンの接種費用の助成の導入の考えを伺います。

答 平成28年から任意接種と位置付けられ、50歳以上から接種できるワクチンです。公費負担は考えていない。国や県の動向を注視していく。

《第1回定例会一般質問》

●印は議員の意見・提案



後藤 正樹

◆高齢者の「通いの場」に対する支援の強化について

問 通いの場の現状について伺いたい。
答 住民主体の通いの場が86団体ある。活動内容の内訳は、体操30、会食6、茶話会26、趣味活動24となっている。

問 通いの場づくりを全世代健康寿命延伸事業ときげんきプロジェクトの一環として進めていくことについて、加藤市長の見解を伺いたい。

答 運動や遊具を活用しながら、運動に関する知識を得るとともに、仲間づくりの輪を広げ、通いの場の利用につながるよう支援していきたい。

問 地域フレイル予防活動支援補助金の概要と交付状況について伺いたい。

答 通いの場等の活動を地域の実情に応じて支援する目的で令和2年度に創設した。フレイルを防ぐ活動等に住民主体で取り組む団体に補助金を交付するもの。令和2年度は19団体、令和3年度は22団体に交付した。

●活動に対する財政的な支援だけでなく、通いの場の立ち上げ段階から行政が積極的に関わることで、市内

各地に数多くの通いの場を展開していくことが重要である。また、住民が運営主体となる通いの場は、地域づくりの推進という観点からも大切である。これまで以上に支援を強化していただきたい。

◆若年者の市外流出抑制のための取り組みについて

問 若年者の地元定着とUターン移住を促進するための取り組みについて、加藤市長の見解を伺いたい。

答 いずれの取り組みも非常に大切なことだと思っている。愛着と誇りを持つ土岐市をつくること、子育て支援策などを充実させることも大切だが、働く場所の有無も大きな問題である。二十歳を祝う会等の機会を利用した地道な取り組み、地元企業や誘致企業への呼びかけ、相談員の設置など、Uターン移住を支援する体制づくりにも取り組んでいきたい。

●人口減少と高齢化が今後も進んでいくことを前提に、持続可能な地域社会を構築するため、地域の活力を維持し、その活力を引き継ぐ若い人たちがしっかりと確保していく必要がある。特効薬や即効薬がない以上、次の時代の担い手となる子どもたちを大切に育てつつ、地元定着のための方策をいくつも検討し、試行錯誤を繰り返しながらも、速やかに実行していく必要があると思う。



● 小関 篤司 ●

◆新型コロナウイルス感染症の拡大を阻止する対策強化について

問 コロナ禍の感染症拡大を阻止する対策強化のなかでの、医療の考え方、地域に複数の医療機関があるというリスク分散の考えは。

答（市長） 指摘されたリスク分散、当然そういう考え方も必要かと思いますが、それ以前の問題意識として現状の医療提供体制では、今後支え切れないという中で、統合して運営しようという話です。医師不足など解消するため医療資源を集約した方がこの地域の医療を守れるということとで進んでいる事業です。

◆土岐市の医療提供体制について
問 新病院を作っても根本的医師不足の問題、人材確保は難しいのでは。

答（市長） 岐阜県の人口当たりの医師数は全国37位、東濃中部地域の医師数も県平均を下回っており、医師不足は非常に顕著な状況です。

その中で毎年、全国市長会の緊急提言で、地域を支える医師確保の対策を国に要望しています。加えて、地

域でどう確保するかは、個別の問題でしっかり力を注いでいきます。

問（新病院の運営を任せる）JA岐阜厚生連が土岐市立総合病院（やすらぎ・駄知診療所）の指定管理を開始して2年経過しました。各施設の利用状況の減少、駄知診療所は診療日、時間の大幅減少になりました。事業者に充実を求める考えは。

答（市長） 指定管理制度は1病院化を進める前段階という位置づけです。新型コロナウイルスで患者数は減少傾向ですが、新病院開設までしっかり機能を果たせるよう充実、患者数の増加を開設者として責務を果たしていきたい。

問 駄知診療所の（従来の）サービス早期再開の展望はどうか。

答（市長） 診療所ですので、地元開業医との関係もあると思います。開設者として、責務を果たす上で最大限努力して欲しいと要請を続けます。



駄知診療所

《第1回定例会一般質問》

●印は議員の意見・提案



● 小栗 恒雄 ●

◆小学校の教科担任制について

問 この四月から、小学校五・六年生を対象にした教科担任制が始まることになっています。その優先的な科目は、外国語、理科、算数、体育の四教科ですが、教科担任制への体制について、ご答弁をお願いします。

答 本市内の小学校五・六年生においても、教科専門職員が担当したりとか、あと学年内でその教科担任制を導入する。教科を割り振って導入するというようなことで、高学年を中心に実施しております。いわゆる加配という形でその専門的な教科をする職員を各校に配置させていただきますが、主に理科、それから外国語です。それで、小学校に今配置されている職員は外国語が三名で、理科については四名、加配という形で配置させていただいております。

◆名称を変える「成人式」を考える

問 民法改正により来年から十八歳に達した若者が、成人式を迎えるのが本筋ですが、土岐市では来年は「二十歳を祝う会」として開催さ

れます。私は、成人式というのは一生のうち特別な式典だと思っています。成人式を受けるとやっぱり意識も違ふし、独立心など大人になったんだなあと思いますけど、「二十歳を祝う会」というと、本当にそのような意識ができるのかと、私は少々疑問を感じています。ある大学教授は、成人年齢が引き下げられると、二十歳を祝う法的根拠がなくなり、公費を出して式典を行う意味が問われると言われています。市長にとって「成人式」と「二十歳を祝う会」は全く同じ意味なのでしょうか。

答（市長） 成人式をやったから成人になったというわけではなく、四月の民法改正により十八歳になれば成人という事があります。それでは成人年齢が十八歳になったので、じゃあ十八歳で成人式をやるうとした時に、現実には高校在学の生徒が殆どで、大学受験の直前にできるのか、時期を替えれば良いという意見あるかもしれないですが、そういうことも踏まえて、来年は成人式という名称を使わないで、「二十歳を祝う会」という形で進めようということでございます。「二十歳を祝う会」は、土岐市で育った子供達が、二十歳を迎えたということとに「一緒に祝おうか」という趣旨については、大変意義のあることと考えています。

特別委員会活動報告

議会改革特別委員会

令和元年度より三年間検証し作業を終え、検証結果報告書を議長へ提出しました。結果は、A B Cの三段階評価とし、Aは14項目、Bは7項目、Cは4項目という評価結果でした。B及びC評価をとった条文をどのようにすれば達成できるのか具体案を協議し、特にCと評価された第14条では市長提案された議案の審査を行うだけでなく、議員提案による条例制定や市長提案の修正等ができていませんでした。今後議員の資質を高め、条例の制定や提言を積極的に行うよう議員研修を行うこととしました。

また、第4条に議会の本質でもある『議会は言論の府』であることを踏まえ、議員間で自由議論を尽くし、議会の合意形成のための条文第17条「議員間討論」及び第18条「政策討論会」は、今後実現に向け実施方法について協議した結果、必要事項を定め申し合わせ事項を作成し、それを議会運営委員会へ提出しました。我々市議会議員は、一部の団体及び地域の代表としてだけでなく、市民の代表として議会一体となって、更なる市民福祉向上と市の発展に寄与してまいります。

近年、全国的に地方議員のなり手不足が深刻化しており、本市においても特に女性及び若手候補者が少ない状況を、どのような解決策を見出すかを協議しましたが、今期は結論に至りませんでした。ことも議会実施に向け協議してまいりましたが、学校との調整等、詳細協議すべきと次年度へ引継ぐこととなりました。委員会でのインターネットを利用しているライブ中継についても費用対効果等の問題もあり、再検討となりました。

(令和3年度 議会改革特別委員会委員長 北谷 峰二)

行財政改革特別委員会

令和7年の開院を目指す「新病院の建設について」を今年度のテーマとし、調査研究を行いました。日本では、少子高齢化、人口減少が喫緊の課題となっています。

国・県が示す質の高い医療提供体制の構築、地域医療構想の実現に向け、昨年6月、東濃中部病院事務組合が発足しました。事務組合より「東濃中部地域新病院建設基本構想、素案」が示された折、当委員会を取り上げ、委員より次のような意見がありました。

1. 建設予定地の周辺は小さな河川しかなく、大雨の際の洪水の危険性に配慮すること。
2. 太陽光等を活用すること。
3. 医師の確保。
4. 交通アクセスの利便性の向上。
5. 混雑時にも対応可能な駐車場の確保。
6. 予防医療の充実。

以上を事務組合へ報告いたしました。

土岐市立総合病院の跡地の利活用についても協議いたしました。防災機能を備えた体育館、介護施設、感染症に対応できる医療機関、企業誘致等、土岐市の将来を見据えた意見がありました。結論には至らず、次期委員会への引き継ぎ事項となりました。

新病院の建設について、今後、基本計画、基本設計、実施設計を策定し、いよいよ具体的な病院の骨格ができてきます。コロナ禍が長期化し、厳しい財政状況の中、行財政改革特別委員会として、調査研究を進めていく必要性を感じています。

(令和3年度 行財政改革特別委員会委員長 水石 玲子)

令和3年度 政務活動費収支報告書

政務活動費とは、議員の調査研究活動に必要な経費の一部として、各会派（所属議員が1人の場合を含む）に交付されるものです。

■交付額 議員1人当たり年額15万円＝月額12,500円×12か月

各会派は、毎年、領収書を添付した収支報告書を議長に提出しています。

残額（返還額）がある場合には、市に返還しています。

ホームページにて、領収書を公開し、透明性を図っています。

令和3年度 各会派の政務活動費収支報告

【交付対象期間 令和3年4月～令和4年3月】

内訳 会派名	交付額 (人数)	費目別集計									合 計 (執行率)	会派 負担額	返納額 (残余金)
		研究 研修費	調査旅費	資料 作成費	資料 購入費	広報費	広聴費	要請・陳情 活動費	会議費	その他の 経費			
新世クラブ ※但し令和 3年9月30 日1人退会	1,425,000 (9人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 (0%)	0	1,425,000
清流の会	450,000 (3人)	0	0	0	60,000	0	0	0	0	0	60,000 (13.3%)	0	390,000
公明党	300,000 (2人)	0	0	0	20,000	0	0	0	0	0	20,000 (6.6%)	0	280,000
市民ライフ	150,000 (1人)	0	0	0	0	108,812	0	0	0	0	108,812 (100%)	0	41,188
至誠クラブ	150,000 (1人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 (0%)	0	150,000
日本共産党	150,000 (1人)	0	0	0	31,902	141,759	0	0	0	0	173,661 (100%)	23,661	0

(単位 円)

◆使途基準の説明◆

研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費	広聴費	要請・陳情活動費	会議費	その他の経費
会派が研究会・研修会を開催するために必要な経費または会派が他の団体の開催する研究会・研修会に参加するために要する経費 (会場費、講師謝金、出席者負担金・会費、交通費、旅費、宿泊費等)	会派が行う調査研究のために必要な先進地調査または現地調査に要する経費 (交通費、旅費、宿泊費等)	会派が行う調査研究活動のために必要な資料の作成に要する経費 (印刷製本費、翻訳料、リース代等)	会派が行う調査研究活動のために必要な図書、資料等の購入に要する経費 (書籍購入費等)	会派が調査研究活動、議会活動及び市の政策について住民に報告し、PRするために要する経費 (広報紙作成費、報告書印刷費、送料、会場費等)	会派が住民からの市政及び会派の政策等に対する要望、意見を聴取するための会議等に要する経費 (会場費、印刷費、茶菓子代等)	会派が要請・陳情活動を行うために必要な経費 (交通費等)	会派が行う各種会議、団体等が開催する意見交換会等各種会議への会派としての参加に要する経費 (会場費、資料作成費)	上記以外の経費で会派の行う調査研究活動に必要な経費 (謝礼金、消耗品費等)

6月定例会(予定)

※午前9時 開会予定(変更の場合あり)

日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1	2	3	4
	本会議 初日 (議案提案説明)					
5	6	7	8	9	10	11
				本会議 2日目 (質疑・委員会付託・一般質問)	本会議 3日目 (一般質問)	
12	13	14	15	16	17	18
	本会議 4日目 (一般質問)	文教厚生 委員会	総務産業建水 委員会			
19	20	21	22	23	24	25
				本会議 最終日 (委員長報告 質疑・討論・採決)		
26	27	28	29	30		

会派の紹介

※◎代表者

新世クラブ



◎西尾 隆久



杉浦 司美



楓 博元



加藤 辰亥



加藤 淳一



山田 正和



各務 和彦



水野 哲男



後藤 正樹

清流の会



◎後藤 久男



北谷 峰二



和田 悦子

公明党



◎高井由美子



水石 玲子

市民ライフ



◎小栗 恒雄

至誠クラブ



◎鈴木 正義

日本共産党



◎小関 篤司

会派に属さない議員



安藤 学

編集後記

軍事力による現状変更により隣国に侵攻した専制国家の行為は、強権的に国内の自由な発言を抑え込み、偽情報を拡散し世論操作を進めております。許しがたい暴挙により、死に直面し食べ物や飲み水も無く、耐え忍んでみえる市民のお姿を察すると、心が張り裂ける思いであります。21世紀にこのような侵略戦争が起きて良いのでしょうか。しかし、現実には東欧で起きています。日本や私達の地方市でも暴挙が起こらないとは言いきれません。今まさに自由と民主主義の覚悟と力量が試されています。住民の安心と安全を守るため、市民の皆様に密着した多様な声を、民主主義の根幹であります議場の自由な発言を、編集し、報告したのがこの「議会だより」であります。大手マスコミを始め各種ジャンルの情報誌が華やかに発刊されています。それらと比べると地味ではありますが、市民の皆様に最も身近である土岐市議会の報告誌に是非ともお目通しのほどお願い申し上げます。(文責：小栗 恒雄)

議会だより編集委員会

委員長：小栗恒雄 副委員長：安藤学

委員：西尾隆久 加藤淳一 山田正和 北谷峰二 和田悦子 水石玲子